

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	麻生養護学校	課程・学科 教育部門・学部	肢体不自由教育部門・小中高 知的障害教育部門・小中高
-----	--------	------------------	-------------------------------

1 学校のミッション

肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、児童・生徒の自立と社会参加に向け、一人ひとりの障害の状態に応じた就労の取組を促進し、小学部・中学部・高等部を通して、キャリア教育推進のための、一貫した教育を行う。医療ケア等を必要とするなど、多様な教育ニーズのある児童・生徒の、登下校を含む教育活動全般について、安全に実施する校内体制の整備をすすめ、個々の障害及び健康等の状況に併せた専門性の高い指導を実践する。加えて、開校からの理念であるインクルージョンを目指す学校として、校内外の連携を一層推進する。

また、共生社会の実現に向け、センター的機能を発揮し、地域の各学校における支援を必要とする児童・生徒等への教育的ニーズに応じた効果的な支援を行うとともに、これからの学校と交流及び共同学習等を通じた、障害のある児童・生徒と障害のない児童・生徒との相互理解を図る。

2 学校教育目標

- 自立と社会参加のために、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行い、生きる力を育てる。
- 共に支えあう地域社会の実現のために、地域の活性化に貢献する教育活動を推進する。
 - ・ 個別の支援計画に基づく個別教育計画を作成しきめ細やかな教育の推進
 - ・ 自己選択、自己決定を尊重・育成する教育の推進
 - ・ 自信や自尊心を育て、未来を切り開く力を育てる教育の推進
 - ・ 保護者や地域の人々と協働した教育の推進
 - ・ 地域社会の発展に寄与する教育の推進
 - ・ 人権尊重理念を具体化する教育の推進

3 計画策定時点での課題

- ・ 「麻生のキャリア教育」を整理し共通理解を図ったが、それに基づく系統性・連続性ある教育課程の編成が課題である。
- ・ 麻生の研修、授業改善サポートプログラム、金曜ゼミナール等学校独自の多様な研修を構築してきたが、活用としては不十分である。
- ・ SHIP（支援連携グループ）による校内外への支援体制が充実している。個別教育計画の作成と評価へのより効果的な参画について明確化していく必要がある。地域のネットワーク構築に寄与してきたが、教育活動と連動させていきたい。
- ・ 地域や保護者との協働に努めてきたが、学校の活動や目指す姿について情報発信十分とは言えず課題である。
- ・ 防災への取組について、避難以降の教員の具体的な動きについて徹底できていない。
- ・ 50人前後の職員が入れ替わり、組織としての校内システムの周知に工夫が必要。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かに生きる力」を育み、自立と社会参加を目指し、キャリア教育の視点を持った、系統性、連続性のある教育課程を再構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「麻生のキャリア教育」について全校で共通理解を図る研修を実施し、学部を横断的に見直す。 系統表の作成。 授業のユニバーサルデザイン化の視点による授業研究を充実させる。
2	児童・生徒 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 個々のニーズに応じた合理的配慮の視点を持った指導・支援を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援計画に基づく個別教育計画について、作成・評価の組織的な実施を検討する。 専門職との協働によるアセスメント、児童生徒支援会議の有効活用を見直す。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのライフステージに応じた進路指導・支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学部段階は、生活年齢に即した、社会性、コミュニケーションの力を高める指導を行う。高等部においては、「ワーク・アート」と進路学習の系統性を再構築する。 卒業生を外部講師とした進路学習。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「インクルージョンを目指す学校」として、インクルーシブ教育推進のために地域のセンター的機能の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等を活用し、学校の取組や目指す姿を発信していく。 近隣の学校との交流及び協働学習の推進を図る。 地域の支援ネットワークを活用したセンター的機能の見直しと、研修・相談の充実を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全で児童生徒にわかりやすい教育環境整備に取り組む。 防災教育の実施、災害時の危機管理について整備し教職員全員で動ける体制を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題改善プロジェクトの一つとして、全校で取り組めるマニュアルを作成する。 地域の方や外部の専門家を交えた検討とシミュレーションを実施する。

